

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

交通結節点における乗り継ぎ環境の整備・バス停上屋等の機能向上

（新）～地域公共交通再構築事業費～
（総合交通体系推進費）

令和8年度 事業費：31,915千円、財源：国15,957千円

路線バス・コミュニティバスの再編にあわせて、国補助金の社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築事業）を活用し、交通結節点となる川津バス停の乗り継ぎ環境の整備や、老朽化したバス停の待合機能の向上を図り、公共交通でお出かけしたくなるまちづくりを目指す。

整備イメージ



①乗り継ぎ環境の整備（川津バス停）

実施主体：交通事業者・松江市 期間：令和8～9年度
概要：郊外部と中心市街地の交通結節点となる川津バス停の待合所の上屋、トイレ駐輪場を整備・更新し、待合環境の充実を図る。

②バス停上屋等の機能向上

実施主体：交通事業者・松江市・関係団体 期間：令和8～10年度
概要：老朽化したバス停（12箇所）の上屋やベンチ整備・更新、デジタルサイネージの導入など、快適な環境でバスを待つことができようバス停の待合機能向上を図る。

